

トホクのセロリ栽培方法

発芽適温：20℃前後 生育適温：15～20℃
土壌酸度：pH6.0～6.5 連作障害；2～3年あける

1. 作物特性

セロリはセリ科の野菜です。暑さに弱く冷涼な気候を好みますが、極端な低温にも弱く、5℃以下では生育できませんので、ビニールハウスなどの利用も必要です。また乾燥にも弱いのでマルチを使って土壌水分を保ち、乾燥が続くようなら様子を見て水やりをする必要があります。

2. 畑の準備

畑にはあらかじめ1㎡あたり堆肥4kg、苦土石灰150g、化成肥料70gを施し、よく耕しておきます。



3. タネまき

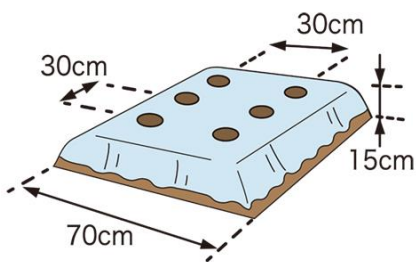
発芽がデリケートなので、ポットで育苗して植えつけるのが一般的です。セロリは発芽に際して好光性なので、土かけは極めて薄くします。園芸用の小粒のバーミキュライトを利用すると便利です。また気温が高いと発芽しにくいので、タネまき後2日間ほど軒下などの涼しい場所で管理します。

本葉が出たら生育の良い株を残して間引きをします。間引きは生育に応じて数回に分けて行います。本葉5～6枚になったら植えつけます。セルトレーにタネをまいて育苗した場合は本葉3枚位が植えつけの適期です。若苗の方が速やかに活着します。



4. 植えつけ

過湿を嫌い根が浅く、ほとんどが地表面近くにあるため環境変化に敏感です。肥効や土壌水分の急激な変化を防ぎ生育をスムーズに進めるためには、マルチ栽培がおすすめです。根鉢をくずさないように注意して植えます。



植えつけは天気がよい日を選び、その後しっかりと水をやりましょう。ポットの根鉢の頭の部分に土をかけすぎないことがポイントです。

5. 栽培管理・収穫

セロリは病気や害虫の少ない野菜です。ただし過湿になると株が腐りだします。畑の水はけを良くすることや、マルチを使って泥のはね返りを防ぐことが有効です。なお株の状態をみて肥料が切れているようなら

株元に化成肥料を少量追肥します。草丈が約30cmになっ



たら株元を段ボール紙などで囲い光を遮ると、約1カ月で白くやわらかな軟白セロリを育てることができます。



セロリは草丈40cm程度になったら根元から切り取り収穫します。収穫が遅れると茎が入り食味が落ちます。なるべく若どりを心がけるようにします。

プランターでも栽培できます。水を切らさないことと、定期的に薄い液体肥料をやるのがポイントです。



栽培例	● まく時期		■ 収穫期										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
冷涼地			●	●	●	●			■	■	■	■	■
中間地			●	●	●	●			■	■	■	■	■
暖地			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●